

平成29年 新年号

2月の行事予定

2月 4日(土)	組長会 (新旧合同図上訓練)	19:30~
2月 10日(金)	菜の花会 (合同)	10:00~
2月 15日(水)	高齢者買い物支援 移動販売 県営住宅内(3丁目) 噴水広場(1丁目19)	13:15~ 13:45~
2月 17日(金)	食改善	10:00~
2月 18日(土)	環境部・イエローカード作戦	9:30~
2月19日(日)	防災避難訓練 (月の浦公民館)	9:00~
2月 20日(月)	足元教室 ⑤	10:00~
2月 24日(金)	子育てサロンしゃべりばほこぼこ	10:00~
2月 26日(日)	平成の会例会	10:00~
2月 28日(火)	福祉推進委員会・ケア会議	10:00~

3月の行事予定

3月 3日(金)	菜の花会 (1班)	10:00~
3月 4日(土)	組長会	19:00~
3月 5日(日)	南コミ芸能発表大会	
3月 10日(金)	菜の花会 (2班)	10:00~
3月 12日(日)	ユニカール大会 (南コミ)	

文庫開館日
(月~金) 10時~16時
(土) 10時30分~12時

五ヶ山ダム見学 文化部研修

去る11月22日に「五ヶ山ダム見学」及び「周辺の紅葉狩り」に出掛けました。多目的ダムの巨大な構造物には、目を見張るもので驚きと感動の連続です。ダム建設には40年の歳月を経て今日の貯水開始にいたったとのこと。又、満水まではこの先1年半ほどかかる見込みとのこと。水没する地域から住居75戸が移転され、家屋は撤去され、橋の欄干など跡形もなく取り外され風景が一変し寂しい思いもありました。周回道路も全通してダム全景を一周できるようになりダイナミックな姿に見入ってしまいます。

福岡県と佐賀県の二県にまたがり環境に配慮したダムづくりとなっています。自然の生物が生息出来るピオトープ、公園、イベント広場等が整備され、素晴らしい癒しのスペースが完成しようとしており今後は、那珂川町の新名称として期待でき必見ですよ。

帰路は、三瀬方面に出て、曲淵ダム周辺の紅葉も満喫して中身の濃い研修だったと思います。

発行所 月の浦公民館 TEL・FAX 595-7147
館長 竹村 勝重 平成29年1月16日発行

新春を迎えて

月の浦区 区長 竹村 勝重

皆様 新年明けましておめでとうございます。神々しくも美しい日の出に始まりました平成29年元旦はとて穏やかな一日となりました。

前年は 各組長・各体育委員さんをはじめ 各部会の皆さんが月の浦区の行事や「安全で安心な街づくり」の為の活動にご協力頂きましたことに深く感謝申し上げます。

昨年発生した熊本や鳥取地震は、私達にとって対岸の出来事ではなくなっています。私達は、想定される地震に対して、日頃から準備をしておく必要があります。

今回は 警固断層南側の活動により 地震発生を想定して行います。避難行動は繰返し行うことに依り いざという時の行動に大切で不可欠なものです。自分たちが住んでいる街の状況を的確に把握して 適切な行動を取るためにも28年度最後の行事、月の浦区避難訓練に皆様の参加並びにご協力を宜しくお願い致します。

避難訓練のお知らせ

日時 平成29年2月19日(日) 9:00~

午前8時55分震度7の地震が発生したとして避難訓練を開催します。9時にサイレンが鳴るので、避難を開始して下さい。避難場所は**月の浦公民館のみ**ですが、自宅避難でも構いません。必ず、外から確認できる所に「逃げタオル」を掲げて下さい。(新旧組長さんが確認します)

- 公民館では… 9:30 災害ビデオ視聴
- 10:00 防災計画、備蓄計画説明
- 10:30 防災グッズ、展示物の説明
- 10:45 炊き出し

◆総貯水容量は、県那須のダムの中で最大
◆江川ダムと寺内ダムを合わせた貯水容量に匹敵
◆堤高・堤頂長:102.5m、556.0m
◆重量式ダムとしての堤頂長は県営ダムでは全国一
◆完成年:2018年3月完成予定



月の浦区 12月4日 餅つき大会



① 雨の中、皆さん並んで待っています
② 女性の方達も頑張っています

師走の12月4日。早朝から餅つき大会の用意が始まりました。今年の行事は何故か雨になる日が多いのは 雨男の自分のせいでしょうか。準備中に小雨が降り出し テントを張つての開催となりました。

今年のもち米の量は125キロ。40日近い餅つきが始まりました。子ども達のもちつき体験用の1臼は和やかに、残り2臼は男性陣や女性陣が威勢よく、なかには女性3人だけで7臼搗いたグループもいて賑やかに続きました。雨の為心配された人出は、親子連れや子どもさん達が傘をさしながらの行列ができていました。最後まで降り続いた雨にも関わらず沢山の方々が来場され 用意した黄な粉餅等や 鶏団子汁は全て無くなりました。お疲れ様でした。

「朝一夕」コーナー⑤ 「月の浦」今昔(下・その1)

一丁目 戸渡 俊康

全編(中・その2)・前々編(中・その1)に記しました『梶原峠』を通るには、必ず月の浦を通らなければならぬその古道は、宰府参りの道として賑わった以外、古代では須恵器を運ぶ道として、また、防人(さきもり)たちも大宰府政庁と早良・怡土(いと)・嶋(しま)・神埼方面との行き来に、戦国時代は武士たちも往来しており、「那珂郡上梶原・下梶原・梶原峠」と、御笠郡月ノ浦」の道は重要な位置として存在していました。

江戸期に於いての月ノ浦及びその周辺の人々は、早魃(かんばつ)水害等自然災害には遭うも、基本的には従来からの業を営み、日々生活していました。

歳月(とき)は流れ、時代は変化し、19世紀後半、封建制の末期を迎えます。幕末の動乱とともに、藩は農民の組織化を考えていたようで、大庄屋等へ通達を出しています。これは、秀吉時代の兵農分離以来となり、一部の村では農兵隊が組織されたが、大掛かりな組織化には至っていません。また、隣の郡である平尾山荘の野村望東尼にかくまわれていた高杉晋作は長州へ帰藩し、同じ時期、西郷隆盛などの薩摩藩士が、同じ郡内の太宰府天満宮参道脇の家にて密会を行っていたが、これも大きな事件とはなっていません。筑前勤王党の動きも京都・江戸へ影響を及ぼすものではありませんでした。

このようななかで、1868年、明治維新を迎えます。明治4年には廃藩置県の詔が出され福岡県となり、また、明治時代中期、御笠郡は那珂郡と統合し筑紫郡となり、筑紫郡大野村大字牛頸字月ノ浦・字小田浦・字後田となりました。(尚、大字牛頸の小字は昭和44年廃止となります)。自治体の呼称名、或いは政治経済体制が変わり、また、日露戦争・第一次世界大戦・第二次世界大戦を経、そして戦後の時代と変わります。昭和25年、大野村は大野町となります。

戦後10年を少し経った昭和30年代初頭、大字牛頸字下ノ原一帯にゴルフ場が出来ることとなり、森林原野の丘陵に、当時のアメリカ軍板付ベースのブルトーザーも加わり、大規模な造成工事がなされました。これは一大変化でした。昭和34年にオープンし、大正天皇第三皇子の高松宮殿下がテープカットされました。現在の月の浦近隣公園にあるタダゴエ池の上は、池越えのショートコースでした。

昭和30年代後半になると、福岡都市圏では都市機能の増大等に伴い、水需要が年々増加し、圏内の河川等では需要を満たすことが出来ない状況となり、九州一の大河川である筑後川から取水することとなりました。事前調査の意味を込め、昭和45年、月の浦地域の東側の小高い丘一帯を、東京の測量事務所が測量に入りました。一方、昭和53年の福岡大洪水では、福岡市を中心に約300日に及ぶ給水制限を余議なくされ、住民生活に多大な被害をもたらしました。

このようななかで、筑後大堰(左岸久留米市安武町、右岸佐賀県三養基郡みやき町)を築き、取水口の久留米市高野から福岡導水により、沿線自治体を通り筑紫野市・大野城市平野台の下ノトンネルを経、約25kmに及んで前述の小高い丘に出来た牛頸浄水場に通水となりました。この牛頸浄水場の施設能力は九州最大級です。

昭和58年11月牛頸浄水場から水の供給開始となり、福岡都市圏(9市8町の17自治体)約250万人の約4分の3の人々が牛頸浄水場から給水を受けています。日々見慣れている浄水場ですが「水は命の源」。我々の目の前にこのような重要かつ大規模な水の施設があることを再認識する思いです。

【裏面に地図をのせています。】参照下さい。

次回「月の浦」今昔(下・その2)に続きます。